



# あらゆる稼動環境を 選択できる時代

新時代に対応するVDI

NUTANIX™



Hewlett Packard  
Enterprise

# エンドユーザー コンピューティングに おけるイノベーションが 重要である理由とは？

新しいテクノロジーの出現によってビジネス環境が変化することで、エンドユーザーコンピューティングのエクスペリエンスにも変化が生じています。現在、企業の従業員は様々な場所で業務を遂行しており、必要なアプリケーションをどこからでも利用できる必要があるため、企業側にはその解決策が求められているのです。

## 卓越したユーザーエクスペリエンス

エンドユーザーが常にベストな方法で業務を遂行できるようにするためには、最適なエンドユーザーエクスペリエンスを、あらゆるデバイスに対して提供する必要があります。

## 従業員のモビリティを促進する業務環境

従業員は、場所、時間、デバイスを問わず、さらに様々なデバイスから全く同じように仕事ができる環境を求めています。

## クラウドサービスとデータ

企業データからアプリケーション、さらにエンタープライズサービスに至るまで、あらゆる資源、サービスがクラウド環境に移行されつつあります。

## 運用コストの削減

ITに関わる支出は大幅に削減されていく傾向にあるため、既に導入されているシステムのさらなる活用と共に、運用コストや設備投資の大幅な削減が保証される場合にのみアップグレードが許されるという状況が発生しています。

あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

# EUCとは?

EUCの取り組みは、企業の全てのステークホルダーに対して、長期的にプラスの効果をもたらします。

## エンドユーザー

エンドユーザーは、これまでのように物理的なハードウェアや利用場所によって制約を受けることなく、仮想デスクトップを使って生産性を向上させることができます。

## IT部門

これまでIT部門の作業効率を低下させてきた、物理的なデスクトップハードウェアやソフトウェア環境に対する、手作業での個別サポートプロセスの多くを自動化することが可能です。

## 経営管理者

経営管理者は、運用コストのより優れた管理が可能となることで、設備投資の支出を抑えることができます。

## テクノロジーベンダー

エンドツーエンドのEUCソリューションを提供するテクノロジーベンダーは、障害対応やエラー防止対応に費やす時間を削減することができ、より多くの時間を自らの提供ソリューションに関わる機能革新や拡張に充てられるようになります。



あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

# HPEとNutanix が提供するEUCソリューションの効果を体験

## 拡張性に関する優れたユーザーエクスペリエンス

インフラストラクチャーのアーキテクチャーを見直すことなく、パイロットから数千人規模のエンドユーザーに至るまで容易に拡張することができます。数百万もの仮想デスクトップやアプリを提供する、業界最先端のHCIソリューションと、世界最高クラスのサポートがもたらすメリットを最大限に活かすことができます。VDI保証サービスなど、HPEやNutanix Servicesによって、サービス停止のリスクを排除することができます。

## ベロシティ

ビルトインされた自己治癒機能や、インテリジェントな自動化機能によって、ダウンタイムを最大97%短縮することができます。複数のクラウド環境に対してバーストしたり、フェールオーバーすることで、中断することなくアプリケーションにアクセスし続けることができます。暗号化されたデスクトップやユーザーファイルによって、好まざる攻撃を回避し、ユーザーデータを安全に維持することができます。さらにネットワークファイアウォールとユーザーデスクトップ間のセキュアネットワークアクセスによって、マルウェアの拡散を防止します。

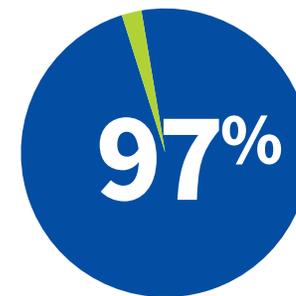
エンドユーザーコンピューティング (EUC) ソリューション

## 短期間で成果を提供

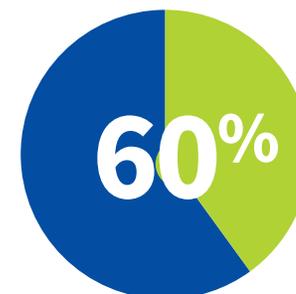
1-クリックで実施可能な導入および管理によって、仮想アプリを8倍迅速に導入することができます。エンタープライズ仕様のデジタルワークスペースによって、数時間や数日ではなく、数分以内にグローバルなコラボレーションを開始できるようになります。様々なプラットフォーム（オンプレミス、ホステッド、パブリッククラウド）上で、モバイルやリモートのユーザーを含め、あらゆるエンドユーザーをサポートすることができます。

## 運用の効率化とコストの削減

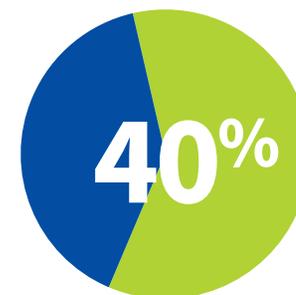
ITコストを最大60%削減し、7ヶ月での投資回収を実現します。また導入コスト（資本支出）を40%削減することができます。さらにライセンス数と利用状況を一致させ、無駄の発生を排除することができます。また、ホームディレクトリやユーザープロファイル、部門間共有、ネットワークセグメンテーションなどのサービスを統合することで、運用の効率化を図ることができます。



ダウンタイムを97%低減



ITコストを最大60%削減



導入コスト（資本支出）を40%削減

IDC “Organizations Leverage Nutanix Enterprise Cloud as Scalable, High-Performing, and Cost-Effective Infrastructure Foundation”

by Eric Sheppard and Matthew Marden, 2020年1月

# 成功に向け適切な計画が重要になる理由とは

常にビジネスを念頭に置くことが重要です。

**エンドユーザーの立場をどのように考えて、最適なコンピューティングエクスペリエンスを提供しようとしていますか？ 何よりも必要になるのは、ユーザーの要件を幅広く収集することです。**

**1** ユーザーが関わる業務やその進め方、全体的なワークフローや、関係するアプリケーションを分析します。また、パイロットプログラムやユーザビリティ・テストを実施する前に、提案するソリューションをストーリーボード化し、エンドユーザーに説明してイメージを描いて頂いた上で、意見を求めるべきです。実施可能なソリューションに対して、さらに投資を行う前に、本来の軌道を逸脱していないかという点を、早めに把握することが重要です。

**2** このような対応を行った上で、エンドユーザーのテストを始めるようにします。エンドユーザーのテストは、全体の中で最も重要なパートとなります。また、ユーザーのテスト方法と結果の記録の方法についても決めておきます。エンドユーザーからのフィードバックを理解する上で、“確証バイアス”と呼ばれる都合の良い情報だけを集めてしまう問題が発生する可能性もあるため、フィードバックの解釈方法には注意を払う必要があります。

**3** エンドユーザーコンピューティングの目標は、ユーザーに最高のエクスペリエンスを提供することにあります。しかし、仮想デスクトップのエクスペリエンスが、以前の物理的なハードウェアを使った利用環境に見劣りするものであれば、エンドユーザーはすぐにその元の環境に戻りたいと思うはずです。EUCへの取り組みを成功させるためには、これまで以上に高速で、極めて安定性に優れ、使い勝手の良い、ユーザーが求めるエクスペリエンスを提供できる必要があります。このようなエクスペリエンスが得られなければ、EUCへの取り組みは失敗に終わってしまうでしょう。

# エンドユーザー コンピューティング の取り組みが失敗 に終わるケースが 多い理由とは？

**EUCプロジェクトの初期の段階で、業務プロセスを十分理解していなければ、テクノロジーによるビジネスの改善は不可能です。**

ビジネスに対する知識、経験を最大限に集約すること、また、テクノロジーの実装に悪影響を与える可能性のある業務については、余計な推察を避けることが重要となります。ビジネスに最高のユーザーエクスペリエンスを提供できるよう、あらかじめ、リスク要因の軽減を図ります。

**エンドユーザーコンピューティングに取り組む全ての組織が、エンドユーザーへの最善の対応についてもコミットしています。**

取り扱いが面倒な物理デスクトップ環境からエンドユーザーを解放し、仮想デスクトップが持つ性能と柔軟性を提供できるというメリットが、EUCに対する取り組みを大きく前進させています。そして、ほとんどの組織において、その恩恵にあずかるのはエンドユーザーだけではありません。IT部門や経営者もまた、EUC や仮想デスクトップインフラストラクチャーのベンダーがコミットする潜在的コスト節減や長期的なTCOの低減の可能性に魅力を感じるものです。インフラストラクチャーの合理化や、集中的な仮想デスクトップ管理、重大な修正や新規機能に対する短いサイクルでのアップデートなどは、運用コストという観点からも理にかなっています。

**それでは、なぜEUCへの取り組みの多くが、最終的に失敗に終わってしまうのでしょうか？**

技術的な計画を十分に練り上げ、多額な投資を行い、慎重にベンダーを選定したにも関わらず、なぜEUCへの取り組みの半数近くが、実運用が始まってすぐにパフォーマンスの壁に突きあたり、ユーザーから元のデスクトップ環境に戻すよう要求されるような状況に陥ってしまうのでしょうか？物事が期待通りに進まなければ、実際に非難を受けることになるのは誰でしょう？

**成功に導くための施策**

問題の本質は、データセンターのサイロ化したインフラストラクチャーにあります。そしてこれこそ、Nutanix が統合的なエンドユーザーコンピューティングソリューションを提供する理由なのです。Nutanixは、単純に製品という側面だけを見て、EUCに取り組むことは危険だと考えています。それは、EUCのコンポジットを、独立した機能のサイロのように見なしてしまう可能性があるからです。

**あらゆる稼動環境を  
選択できる時代**

# ではどうすれば よいのか？

EUC を成功に導く重要な要因

## エンドユーザー環境をアップグレード

例えば、ラップトップハードウェアのサポートが終了した時点で、これを仮想デスクトップに置き換えます。あるいは、エンドユーザーのオペレーティングシステムを更新します。IT部門やアプリケーションチームが、個別のアプリをSaaSとして提供する場合もあるでしょう。

## セキュアなアクセス

例えば、コンプライアンスを維持しながら、セキュアなデスクトップやアプリを、トレーニングや実業務、開発やテストのために準備する必要があるかもしれません。

## あらゆるデバイスをサポート

例えば、様々なタイプのデバイスを対象にした、BYOD (個人所有デバイスの業務利用) や、CYOD (企業が承認した個人所有デバイスの業務利用) への対応があります。



あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

# 信頼性の高いHPE & Nutanixの基盤

世界数千社の企業が導入

選択可能なオプション:

vmware®  
READY



## 強力な基盤

HPE-Nutanixパートナーシップの基盤となるのが、Nutanix Cloud Platform ソフトウェアをプリロードした、HPE ProLiant DX統合システムです。業界で最もセキュアなサーバーファミリーとの評価を受け、世界最大のインストールベースを誇るHPE ProLiantサーバーをベースにしたHPE ProLiant DXは、Nutanixで仮想化アプリケーションを稼働させる、極めて信頼性に優れたプラットフォームです。

## 事前購入または使用量に応じた毎月の支払いが可能です。

従来の設備投資としてHPE ProLiant DXシステムを調達する形態、あるいは、初期費用不要で、月次ベースの使用量に応じたインフラストラクチャー費用として、HPE GreenLake as a Service with Nutanixを利用する形態のいずれについても、EUC向けのインフラストラクチャーを活用することができます。

## 世界で数千におよぶお客様が保有する数百万ものアプリやエンドユーザーをサポート

Nutanixは、EUCリソースの実際の利用状況に応じて最適なインフラストラクチャーを導入できるよう、様々な選択肢を提供しています。HPE ProLiant DXシステムを自社購入する場合でも、HPE-Nutanix HCIクラスタノードのモジュラー方式の設計によって、オーバープロビジョニングによる余分な消費を避け、必要な分だけを購入することができます。拡張についても、必要に応じて1クラスタノード単位に、容易にかつシンプルに実施することが可能です。また、Nutanixが稼働するHPE GreenLakeは、利用した分だけを支払うというメリットに加え、リソースにバーストが発生した場合でも、すぐに予備のキャパシティを利用できるようになっています。こうしたアプローチによって、ユーザーに対する仮想デスクトップやアプリの提供を加速すると同時に、設備投資を削減することができます。

\*第三者機関が2017年5月に実施した、様々な製造業者の多様なサーバー製品を対象にしたペネトレーションテストの結果に基づく。

あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

NUTANIX™

Hewlett Packard  
Enterprise

# HPE PROLIANT DX 統合システム

世界で最もセキュアな業界標準のサーバーがベース\*

**投資の無駄を排除** オーバープロビジョニング不要。必要に応じて1ノード単位で購入することが可能。

**TCOの削減** フットプリントをより小さくし、電力や空調、占有スペース、ライセンスコストを節減しています。

**シンプルな管理** 1-クリックの運用で、時間の節約とミス発生の回避を実現しています。

**俊敏性の向上** 数分以内に導入し、容易に拡張することが可能です。

**セキュリティと保護** ファームウェアに備えられたプロテクション機能によって、マイクロセグメンテーションの構成を監視します。

\*第三者機関が2017年5月に実施した、様々な製造業者の多様なサーバー製品を対象にしたペネトレーションテストの結果に基づく。

エンドユーザーコンピューティング (EUC) ソリューション



あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

NUTANIX™

Hewlett Packard  
Enterprise

# HPE GreenLake as a Service

HPE GreenLake as a Serviceでは、事前に購入する必要なく、パブリッククラウドのような従量課金で、オンプレミスインフラストラクチャーを利用することができます。Nutanix HCIソフトウェアと組み合わせることで、アプリケーションを稼働させるインフラストラクチャーの極めて容易なインストールや、拡張、運用が可能になります。

**柔軟性** ユーザー、アプリ、データをオンプレミス環境でセキュアに接続します

**シンプル性** 認定プロフェッショナルは必要ありません

**ベロシティ** 価値実現までの時間を短縮 - 数時間以内にユーザーへサービスを提供

**あらゆるアプリに対応** デスクトップに対してアプリを簡単かつ迅速に提供

**あらゆるストレージに対応** フラッシュから、3DXpointメディア、SATA、SAS、そしてNVMeインターフェースに至るまで、幅広い最新のストレージ技術によって、自社に最適なコストとパフォーマンスが選択可能です。

**どこからでもアクセスが可能** アプリをブラウザから提供することで、個別のデバイスを管理することなくBYODを実現できます。

エンドユーザーコンピューティング (EUC) ソリューション



あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

NUTANIX™

Hewlett Packard  
Enterprise

# Nutanix Clusters on AWS

ハイブリッドクラウドを構成するパブリッククラウド機能として、Amazon Web Servicesを選択することにより、以下が可能となります：

**シームレスなアプリケーションモビリティ** アプリケーションをクラウド間でスムーズに、安心して移動させることができ、コードに変更を加える必要もありません。

**統合インフラストラクチャー管理** オンプレミスやパブリッククラウドなど、全てのコンピューティングインフラストラクチャーを、単一のコンソールから集中的に管理することができます。

**コストインテリジェントな運用** 自動化されたコストガバナンスポリシーを使って、ハイブリッドクラウドのコストをコントロールすることができます。サポート対象となる全てのクラウド環境で、同じNutanixのソフトウェアとライセンスを使用できるため、ITに対する投資をフル活用することができます。

エンドユーザーコンピューティング (EUC) ソリューション



あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

NUTANIX™

  
Hewlett Packard  
Enterprise

# HPE & Nutanix が優れたユーザー エクスペリエンスと ビジネス成果の達成 を支援します。

「インフラストラクチャーがより高速に、そしてよりレスポンスになったことは大きな成果です。ITだけでなく、エンドユーザーエクスペリエンスという意味でも、ユーザーにとって大きな成果が得られました。私達ハイランド銀行（米国）は、ハイパーコンバージドインフラストラクチャーを使用することによって、より少ないITプロフェッショナルで、より多くのことを達成できるようになりました」

[ケーススタディを読む](#)

エンドユーザーコンピューティング (EUC) ソリューション



Highland  
Bank

Your Business, Our Bank.

あらゆる稼動環境を  
選択できる時代

# 全てが1つに統合され、 容易に利用できる、イン テリジェントでセキュアな インフラストラクチャー を提供します

HPEおよびNutanixのエンドユーザーコンピューティングソリューションは、VDIアプリケーションやデスクトップ、そしてデータに対するセキュアでレスポンスなアクセス手段を提供します。デスクトップやアプリは、事前購入が可能なモジュラー方式のインフラストラクチャーとしても、またオンデマンドで使用できる予備のキャパシティを備えた月次払いのサービスとしても利用することができます。

## エンドユーザーコンピューティングの容易な導入と管理を可能にします：

- 全てのユーザーに優れたエクスペリエンスを提供
- 小規模から開始し、アーキテクチャーを見直すことなく、数千ユーザーにまで拡張が可能
- 業務の拡大に応じた拡張とTCOの削減

今すぐ EUC ジャーニーを始めましょう

[WWW.NUTANIX.COM/HPE/HPE-VDI](http://WWW.NUTANIX.COM/HPE/HPE-VDI)



あらゆる稼動環境を  
選択できる時代